

おてがる水産

Otegaru Suisan

誰でも簡単に、お・て・が・る養殖で、おいしい魚をつくらう！

小規模に始められる。どこでもできる。
料理店でも生きたまま魚介類をキープ。フードロス対策に畜養も。

閉鎖循環式陸上養殖コンサルティング

- ・活用したいけどどうしたら良いかわからない
- ・閉鎖循環式陸上養殖をしているが上手くいかない などのご相談

水槽

- ・一体型構造 < 架台+濾過槽+機械室+外装が一体化 >
- ・全ての機能がオールインワン<置いたら直ぐにスタートできる>
- ・錆びない < 綺麗で水漏れリスクに強い >

ディスプレイタイプ

ZOOX流動脱窒装置

- ・好気性なのでシンプルで簡単
- ・汚れが溜まらない
- ・硫化水素の発生がない

ZOOXプロテインスキマー /泡沫分離装置

- ・気泡量が多く高効率
- ・安全な構造
- ・とても静か
- ・日々のメンテナンスが容易

ヘビーデューティタイプ

キューブ構造PP板 日本初上陸！

- ・ドイツ製新素材
- ・自由設計
- ・断熱

エコ素材<環境負荷をかけない無毒性>
リサイクル可能<同じPP板に再生可能>
地震に強い<衝撃に強く割れにくい>

こんな活用してみませんか？(裏面へ)

お問い合わせ：株式会社ウイズアqua ☒ toiawase@withaqua.co.jp
東京都大田区大森北6-1-2 丸子ビル1階 <https://withaqua.co.jp>

協力会社：株式会社Yasuda <https://www.yasuda-a.co.jp>
株式会社エムエムシー企画 レッドシー事業部 <https://aqua.mmccorp.jp>



Yasuda  MMC Planting Co., Ltd.

01

蓄養

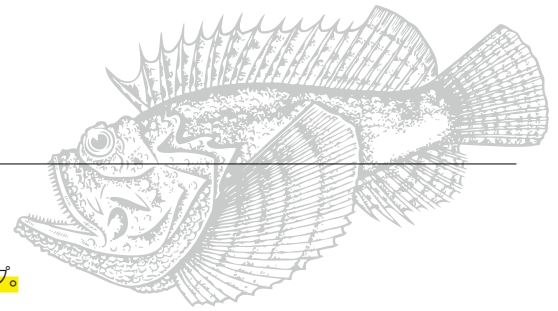
活魚の中継基地、消費地で活魚介類の在庫化を図る

蓄養センター

- ・町の消費地に蓄養センターを設け、いつでも活魚介類を提供。
- ・飲食店で活用して、町おこしやフードロスの問題を解消。
- ・旨味成分イノシン酸のもとになるATP量が回復し、旨味をアップ。

活魚水槽

- ・従来の店舗水槽は、時間の経過に伴い飼育水が異臭を放ち、水質が著しく劣化してしまうため、飼育している魚介類に臭いが移ったり、魚の姿がボロボロになったりと、活魚の品質低下が問題視されていた。
- ・本システムでは、外洋水並みに清浄な飼育水で魚をキープできるため、嫌な臭いのない、美しい姿の魚介類を在庫化しながら展示することが可能。



02

観光業

新しい価値を創出

観光アクアファーム

- ・ブドウ狩りやいちご狩りなどの観光農園や、ワイナリーや酒蔵とのコラボレーション。

ホテル、旅館

- ・バックヤードで蓄養することで、予約日近くに台風や嵐などがあってメインの魚介類が手に入らないリスクを回避。

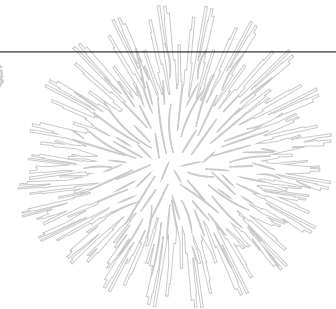
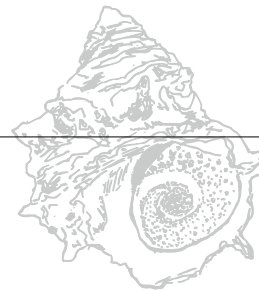


03

陸上養殖のトライアル

新規事業で廃校などの未利用施設を活用

- ・魚類の養殖に限らず、無脊椎動物も。
- ・季節による品質の変化がないため、1年を通じて安定供給。
- ・旬ではない季節や禁漁期間などで品薄の時期は、高値で販売。
- ・消費地である都市で養殖することで、輸送コストが削減。



04

水福連携（水産と福祉の連携）

力の弱い人、障害のある人でも扱える

- ・このシステムはどこにでも（町中にも）設置でき、維持管理も簡単なため、障がい者や高齢者でも水産養殖に携わることができる。
- ・心の障がいを持つ子どもに、水や生き物に触れる機会を設けて、癒しの場を提供。

05

教育

子どもから大人まで陸上養殖を体験できる

食育

- ・魚介類は半年ほどで食用サイズに成長するため、校舎の一角で陸上養殖を体験し、命を頂く感謝の心を学べる。

生物部

- ・内陸部の学校でも海産魚介類を自由に飼育し、動物福祉に対応した研究が可能。

家族で漁業体験

- ・地域センターなどに当システムを設置し、家族で陸上養殖を体験しながら、漁業、環境、食について学べる。

06

研究施設・水族館

飼育実験のリスクとコストの抑制

- ・ゲノム編集など、実験魚が外部環境に流出するリスクをかかえている研究を、内陸部の安全な場所で行える。
- ・水質の維持に非常にコストのかかった海産の魚や、無脊椎動物を手軽に飼育。
- ・希少種や、絶滅危惧種の種苗生産技術の開発に利用。
- ・病原体の外部流出を防ぐなど、魚病研究に利用。
- ・近い将来に求められる動物福祉に対応する実験体制を構築。

